

第3章

資料3 生薬一覧(詳細)

解熱鎮痛薬、鎮咳去痰薬、鼻炎薬、風邪薬、うがい薬、小児鎮静薬

※ピンク色のセルは植物以外が基原のもの

No.	薬効群	生薬名	科名	基原	部位	特徴
1	解熱鎮痛薬	ポウイ/防已	ツヅラフジ科	オオツヅラフジ	蔓性の茎及び根茎	利尿作用。局方収載のポウイ(煎薬)は筋肉痛、神経痛、関節痛に使用する
2	解熱鎮痛薬、風邪薬	カッコン/葛根	マメ科	クズ	周皮を除いた根	解熱作用、鎮痙作用
3		ショウマ/升麻	キンポウゲ科	Cimicifuga dahurica Maximowicz、Cimicifuga heracleifolia Komarov、Cimicifuga foetida Linné 又はサラシナショウマ	根茎	発汗作用、解熱作用、抗炎症作用、解毒作用
4		ジリュウ/地竜	フトミズ科	Pheretima aspergillum Perrier	内部を除いたもの	熱さまし、感冒時の解熱
5		ポウフウ/防風	セリ科	Saposhnikovia divaricata Schischkin	根、根茎	発汗作用、解熱作用、鎮痛鎮痙作用
6		解熱鎮痛薬、痲疾用薬(内用)	サイコ/柴胡	セリ科	ミシマサイコ	根
7	解熱鎮痛薬、婦人薬、胃腸鎮痛鎮痙剤	シャクヤク/芍薬	ボタン科	シャクヤク	根	鎮痛鎮痙作用
8	解熱鎮痛薬、婦人薬、内用痲疾用薬	ボタンピ/牡丹皮	ボタン科	ボタン	根皮	鎮痛鎮痙、鎮静作用
9	催眠鎮静薬	カノコソウ/鹿子草	オミエナシ科	カノコソウ	根茎、根	神経興奮抑制作用、緊張緩和作用がある。婦人薬、解熱鎮痛薬にも配合される
10		サンソウニン/酸棗仁	クロウメモドキ科	サネブトナツメ	種子	
11		チャボトケイソウ	トケイソウ科		開花期の茎、葉	
12		チョウトウコウ/釣藤鈎	アカネ科	カギカズラ、Uncaria sinensis Haviland 又は Uncaria macrophylla Wallich	とげ	
13		ホップ	アサ科	ホップ	成熟球果状の果穂	
14	小児鎮静薬、強心薬	ジャコウ/麝香	シカ科	ジャコウジカのオス	麝香腺分泌物	緊張や興奮を鎮める、血液循環促進・強心作用、呼吸中枢刺激作用、意識をはっきりさせる
15		ジンコウ/沈香	ジンチョウゲ科	ジンコウ	辺材の材質中に黒色樹脂が沈着した部分	鎮静作用、健胃作用、強壯作用
16		レイヨウカク/羚羊角	ウシ科	サイカレイヨウ	角	緊張興奮緩和作用
17	強心薬	リュウノウ/竜腦	フタバガキ科	リュウノウジュ	樹脂	中枢神経興奮作用
18	小児鎮静薬、強心薬、滋養強壯保健薬	ゴオウ/牛黄	ウシ科	ウシ	胆嚢結石	緊張や興奮を鎮める、血液循環の促進作用、強心作用、血管拡張による降圧効果、解熱作用
19	風邪薬、鎮咳去痰、鼻炎薬	マオウ/麻黄	マオウ科	Ephedra sinica Stapf、Ephedra intermedia Schrenk et C. A. Meyer 又は Ephedra equisetina Bunge	地上茎	交感神経刺激作用。依存性あり
20	風邪薬、鎮咳去痰、鼻炎薬、胃腸薬、甘味料	カンゾウ/甘草	マメ科	Glycyrrhiza uralensis Fischer 又は Glycyrrhiza glabra Linné	根、ストロン、皮切りカンゾウの場合あり	グリチルリチン酸はステロイド骨格に似ているため抗炎症作用を示す。大量摂取で偽アルドステロン症の副作用を生じるおそれがあり、むくみのある人・高齢者・心臓病・腎臓病・高血圧の人は特に注意する
21	鎮咳去痰薬	オンジ/遠志	ヒメハギ科	イトヒメハギ	根及び根皮	去痰作用。糖尿病の検査値に影響を生じることがある
22		セネガ/美遠志	ヒメハギ科	セネガ、ヒロハセネガ	根	
23		オウヒ/桜皮	バラ科	ヤマザクラ又はカスミザクラ	樹皮	去痰作用
24		シャゼンソウ/車前草	オオバコ科	オオバコ	花期の全草	去痰作用

第3章
資料3 生薬一覧(詳細)

No.	薬効群	生薬名	科名	基原	部位	特徴
25	鎮咳去痰薬	セキサン/石蒜	ヒガンバナ科	ヒガンバナ	鱗茎	去痰作用
26		キキョウ/桔梗	キキョウ科	キキョウ	根	鎮咳去痰作用
27		キョウニン/杏仁	バラ科	ホンアンズ、アンズ	種子	鎮咳作用。代謝物の一部が延髄の呼吸中枢・咳嗽中枢を鎮静させる
28		ナンテンジツ/南天実	メギ科	シロミナンテン、ナンテン	果実	鎮咳作用
29		バクモンドウ/麦門冬	ユリ科	ジャノヒゲ	根の膨大部	鎮咳去痰作用、滋養強壮作用
30		ハンゲ/半夏	サトイモ科	カラスビシャク	コルク層を除いた塊茎	中枢性の鎮咳作用、制吐作用
31	鎮咳去痰薬、滋養強壮保健薬	ゴミシ/五味子	マツブサ科	チョウセンゴミシ	果実	鎮咳作用
32	鼻炎用内服薬	ケイガイ/荊芥	シソ科	ケイガイ	花穂	発汗作用、解熱作用、鎮痛作用、鼻炎
33		サイシン/細辛	ウマノスズクサ科	ケイリンサイシン又はウスバサイシン	根、根茎	鎮痛作用、鎮咳作用、利尿作用、鼻閉改善作用
34		シンイ/辛夷	モクレン科	Magnolia biondii Pampanini、ハクモクレン、Magnolia sprengeri Pampanini、タムシバ又はコブシ	つぼみ	鎮静作用、鎮痛作用
35	鼻炎用内服薬、風邪薬	ベラドンナ	ナス科	オオカミナスビ	草本、根	抗コリン作用
36	うがい薬、健胃薬	ウイキョウ/茴香	セリ科	ウイキョウ	果実	うがい薬。芳香による清涼感、芳香性健胃薬
37	うがい薬、歯槽膿漏薬	カミツレ	キク科	カミツレ	頭花	抗炎症作用、抗菌作用、発汗・抗炎症作用を目的として風邪薬にも配合される
38		ミルラ	カンラン科	ミルラノキ	樹脂	咽頭粘膜引き締め(収斂)作用、抗菌作用
39		ラタニア	クラメリア科	クレメリア・トリアンドラ	根	咽頭粘膜引き締め(収斂)作用、抗炎症作用

胃腸症状に使う生薬

40	胃腸薬、制酸剤	ボレイ/牡蠣	イボタガキ科	カキ	貝殻	炭酸カルシウム
41	苦味健胃薬 ※味覚(苦味)により反射的に唾液分泌や胃液分泌を促すため、オブラート使用不可	オウバク/黄柏	ミカン科	Phellodendron chinense Schneider	周皮を除いた樹皮	ベルベリン含む
42		オウレン/黄連	キンポウゲ科	Coptis chinensis Franchet、Coptis deltoidea C.Y. Cheng et Hsiao 又は Coptis teeta Wallich	根をほとんど除いた根茎	
43		ゲンチアナ	リンドウ科	Gentiana lutea Linné	根、根茎	
44		センブリ/千振	リンドウ科	センブリ	開花期の全草	
45		リュウタン/竜胆	リンドウ科	トウリンドウ	根、根茎	
46		ユウタン/熊胆	クマ科	Ursus arctos Linné 又はその他近縁動物	胆汁	小児鎮静薬、強心薬としても使用する
47	芳香性健胃薬 ※嗅覚(芳香)により反射的に唾液分泌や胃液分泌を促すためオブラート使用不可	ケイヒ/桂皮	クスノキ科	Cinnamomum cassia J. Presl	樹皮	発汗促進、解熱、風邪薬にも配合される
48		コウボク/厚朴	モクレン科	ホオノキ、Magnolia officinalis Rehder et Wilson 又は Magnolia officinalis Rehder et Wilson var. biloba Rehder et Wilson	樹皮	
49		ショウキョウ/生姜	ショウガ科	ショウガ	根茎	発汗促進、解熱、風邪薬にも配合される
50		ソウジュツ/蒼朮	キク科	ホソバオケラ、シナオケラ	根茎	
51		チョウジ/丁子	フトモモ科	チョウジ	つぼみ	小児鎮静薬、外用で歯槽膿漏薬、口腔咽喉薬、うがい薬に配合される
52		チンピ/陳皮	ミカン科	ウンシュウミカン	成熟果皮	
53	ビャクジュツ/白朮	キク科	オケラ、オオバナオケラ	根茎	オケラの根茎→和ビャクジュツ オオバナオケラの根茎→唐ビャクジュツ	

第3章
資料3 生薬一覧(詳細)

No.	薬効群	生薬名	科名	基原	部位	特徴
54	瀉下剤	アロエ	ユリ科	Aloe ferox Miller又はこれと Aloe africana Miller又はAloe spicata 1664 Baker との種間雑種	葉	大腸刺激性便秘薬
55		ケンゴシ/牽牛子	ヒルガオ科	アサガオ	種子	
56		センナ	マメ科	Cassia angustifolia Vahl 又は Cassia acutifolia Delile	小葉	
57	便秘薬、婦人薬	ダイオウ/大黃	タデ科	Rheum palmatum Linné、Rheum tanguticum Maximowicz、Rheum officinale Baillon、Rheum coreanum Nakai	根茎	大腸刺激成分センノシドを含むため、妊婦・授乳婦は使用を避ける
58	整腸剤	ケツメイシ/決明子	マメ科	エビスグサ又は Cassia tora Linné	種子	
59		ゲンノショウコ/現証拠	フウロソウ科	ゲンノショウコ	地上部	

外皮用薬

60	外皮用薬	アルニカ	キク科	アルニカ	全草	抗炎症作用、血行促進作用
61	外皮用薬、歯痛用薬	サンシシ/山梔子	アカネ科	クチナシ	果実	

循環器用薬

62	強心薬	シンジュ/真珠	ウゲイスガイ科	アコヤガイ、シンジュガイ、クロチョウガイ	外套膜に病的に形成された顆粒状物質	鎮静作用
63		センソ/蟾酥	ヒキガエル科	アジアヒキガエル	耳腺の分泌物	微量で強い強心作用があり1日5mgを越えて含有するものは劇薬である。局所麻酔作用があるため丸薬や錠剤は噛まない
64		ブシ/附子	キンポウゲ科	ハナトリカブト、オクトリカブト	塊根を減毒加工	心筋の収縮力を高めて血液循環を改善する。利尿作用、鎮痛作用があるが、プロスタグランジン抑制作用は無い
65	強心薬、滋養強壮保健薬	ロクジョウ/鹿茸	シカ科	Cervus nippon Temminck、Cervus elaphus Linné、Cervus canadensis Erxleben 又はその他同属動物の雄鹿	角化していない幼角	強心・強壮作用、血行促進作用
66	循環器用薬	コウカ/紅花	キク科	ベニバナ	管状花	末梢血行促進作用、うっ血除去作用。局方収載のコウカの煎薬は冷え性・血色不良に使用する

滋養強壮薬

67	滋養強壮保健薬	オウギ/黄耆	マメ科	キバナオウギ又は Astragalus mongholicus Bunge	根	強壮作用
68		サンシュユ/山茱萸	ミズキ科	サンシュユ	偽果の果肉	
69		サンヤク/山薬	ヤマイモ科	ヤマノイモ、ナガイモ	周皮を除いた根茎	
70		タイソウ/大棗	クロウメモドキ科	ナツメ	果実	
71		ハンピ/反鼻		ニホンマムシ等	皮及び内臓を取り除いたもの	
72	滋養強壮保健薬、強心薬	インヨウカク/淫羊藿	メギ科	キバナイカリソウ、イカリソウ、Epimedium brevicornu Maximowicz、Epimedium wushanense T. S. Ying、ホザキイカリソウ又はトキワイカリソウ	地上部	血行促進作用、性機能亢進作用
73	滋養強壮保健薬、解熱鎮痛薬、小児鎮静薬、強心薬	ニンジン/人参	ウコギ科	オタネニンジン	根、根を湯通ししたもの	コウジン:オタネニンジンの根を蒸したものの、神経系の興奮・副腎皮質機能亢進作用により、ストレス耐性や新陳代謝を高める
74	滋養強壮保健薬、瀉下剤	ヨクイニン/薏苡仁	イネ科	ハトムギ	種皮をのぞいた種子	肌荒れ・いぼに用いられる、瀉下剤の補助成分である

第3章 資料3 生薬一覧(詳細)

痔疾用薬

No.	薬効群	生薬名	科名	基原	部位	特徴
75	痔疾用薬(内外用)	セイヨウトチノミ	トチノキ科	セイヨウトチノキ(マロニエ)	種子	血行促進作用、抗炎症作用
76	痔疾用薬(内用)	カイカ/槐花	マメ科	エンジュ	つぼみ	止血効果
77	痔疾用薬(内用)	カイカク/槐角	マメ科	エンジュ	成熟果実	止血効果
78	痔疾用薬(内用)、健胃薬	オウゴン/黄芩	シソ科	コガネバナ	周皮を除いた根	痔疾用薬:抗炎症作用、芳香性健胃薬
79	痔、口内炎用薬(外用)	シコン/紫根	ムラサキ科	ムラサキ	根	痔疾用薬:新陳代謝促進、殺菌作用、抗炎症作用、口内炎用薬:組織修復、抗菌作用

泌尿器用薬

80	泌尿器用薬	ウワウルシ	ツツジ科	クマコケモモ	葉	利尿作用
81		カゴソウ/夏枯草	シソ科	ウツボグサ	花穂	
82		キササゲ	ノウゼンカズラ科	キササゲ	果実	
83		サンキライ/山帰来	ユリ科	ケナシサルトリイバラ	塊茎	
84		ソウハクヒ/桑白皮	クワ科	マグワ	根皮	
85		モクツウ/木通	アケビ科	アケビ、ミツバアケビ	蔓性の茎	
86	泌尿器用薬、婦人薬	ブクリョウ/茯苓	サルノコシカケ科	マツホド	菌核の外層を除去したもの	利尿作用、鎮静作用、健胃作用

婦人薬

87	婦人薬、強心薬、小児鎮静薬	サフラン	アヤメ科	サフラン	柱頭	鎮静作用、鎮痛作用、月経改善作用。局方収載のサフランの煎じ薬は冷え性、血色不良に使用する
88	婦人薬、解熱鎮痛薬、風邪薬	コウブシ/香附子	カヤツリグサ科	ハマスゲ	根茎	鎮静作用、鎮痛作用、月経改善
89	婦人薬、解熱鎮痛薬、風邪薬、滋養強壮保健薬	センキュウ/川芎	セリ科	センキュウ	根茎を湯通し	血行促進作用、血色不良・冷え性改善作用
90	婦人薬、滋養強壮保健薬	ジオウ/地黄	ゴマノハグサ科	アカヤジオウ	根	血行促進作用、血色不良・冷え性改善作用、強壮、鎮痛、鎮静作用
91	婦人薬、痔疾用薬(内用)、滋養強壮保健薬	トウキ/当帰	セリ科	トウキ、ホツカイトウキ	根を湯通し	血行促進作用、血色不良・冷え性改善作用、鎮痛、鎮静作用

その他

92	毛髪用薬(外用)、解熱鎮痛薬	チクセツニンジン/竹節人參	ウコギ科	トチバニンジン	根茎を湯通し	毛髪用薬:血行促進作用、抗炎症作用
93	毛髪用薬(外用)、滋養強壮保健薬	カシュウ/何首烏	タデ科	ツルドクダミ	塊根	毛髪用薬:頭皮における脂質代謝を高め、余分な皮脂を除去する
94	毛髪用薬、歯槽膿漏薬(共に外用)	ヒノキチオール	ヒノキ科	タイワンヒノキ、ヒバ	精油成分	抗菌、抗炎症作用
95	その他	サンザシ/山楂子	バラ科	サンザシ、オオミサンザシ	偽果	健胃作用、消化促進作用
96		セッコウ/石膏		硫酸カルシウムの結晶	鉱物	鎮静作用、解熱作用、腸管運動抑制作用、利尿作用 ※手引きに記載はないが、漢方薬に多く含まれるため記載。
97		レンギョウ/連翹	モクセイ科	レンギョウ	果実	鎮痛作用、抗菌作用